

日本語日本文学

第 27 号

講演要旨	森 富子	1
研究発表要旨	黄 若白	2
研究活動報告	3
平成二十八年度卒業論文題目	8
〔研究ノート〕			
「帰る」と「戻る」の使い分け方…機能言語学からの一考察	リグス 秀美	(109)
賞賛で使用される「ながら」と「つつ」に見られる特徴について	市川 真未	(95)
— Twitter の用例から —
数学科の証明問題に必要な言語力に関する考察	青木 美寿華	(71)
— JSL 生徒のための日本語の表現とは —
「〜が数量詞ある」文の考察 — ガ格名詞と数量詞の省略を中心に —	大塚 望	(53)
「ナル表現」をめぐる認知言語学的研究 — 類型論を視野に入れて —	守屋 三千代	(39)
配慮表現の慣習化をめぐる一考察 — メタファーとのアナロジーをもとに —	山岡 政紀	(27)
「カモシレナイ」と「ヨウダ・ミタイダ」の婉曲用法
— 認識的モダリティの類型的相違がもたらす振る舞いの対照性 —	蓮沼 昭子	(1)

平成29年3月
創価大学日本語日本文学会